

## 社会貢献活動の基本的な考え方

当社およびグループ各社は、金融グループとしての高い公共性を認識し、本業の活動を通じて社会の発展へ貢献することが重要と考えます。一方で、日常業務を通じた社会への貢献に加え、豊かな社会を実現するための『良き企業市民』としての活動も欠かせません。当社およびグループ各社は、『良き企業市民』として社会的責任を果たすべくさまざまな社会貢献活動を行います。

## 社会貢献活動方針

当社およびグループ各社は、『良き企業市民』としての役割を認識し、豊かで持続可能な社会の実現を目指し社会貢献活動を行います。この社会貢献活動を積極的に行うため、企業で活動を企画・実施するとともに、社員のボランティア活動を支援します。

## 社会貢献活動の柱

当社およびグループ各社は、以下の4つの分野を社会貢献活動の柱としています。

**福祉活動、地域・国際社会、環境活動、文化・芸術・教育**

### 福祉活動

#### ●書き損じはがきほか、収集ボランティアの実施

当社では、グループ各社の社員から「書き損じはがき」を募集し、ボランティア団体に寄贈しています。また、三井住友銀行では未使用テレホンカード、三井住友カード・セディナ・SMBCコンシューマーファイナンス・三井住友ファイナンス&リース・SMBC日興証券ではペットボトルのキャップ、三井住友カード・SMBCコンシューマーファイナンス・SMBCフレンド証券では使用済み切手を社内で収集し、寄贈しています。また、三井住友銀行・SMBCフレンド証券では、株主優待品の寄贈も行っています。

#### ●団体献血の開催

三井住友銀行・三井住友カード・SMBCコンシューマーファイナンス・SMBC日興証券では、職場での団体献血を実施しています。平成23年度は、4社合計で785人が参加しました。

#### ●寄付型自動販売機の設置、福祉団体販売の実施

三井住友銀行では、飲料を購入すると福祉団体に寄付が行われる仕組みの自動販売機を本店ビルに設置しています。また、障がい者就労施設の製品販売を継続的に行っています。

### 地域・国際社会

#### ●ボランティア基金

三井住友銀行では、有志社員の給与から毎月一律100円を天引きする積立募金に、1万2千名超が加入しています(平成24年5月現在)。寄付先は、有志社員および専門機

関から推薦された団体を、有識者と有志社員で構成する審査会にて審議し、決定しています。平成23年度は、国内外で経済的困難にかかる社会課題等の解決に取り組む28団体に寄付しました。

#### <海外>

ブルキナファソでの学校給食事業、南スーダンでの基礎保健事業、ミャンマーでの裁縫訓練による収入向上運動、カンボジアでの識字環境づくり、等



#### <国内>

児童虐待を受けた子どもを保護するシェルター運営、子どものホスピス運営、日本に逃れてきた難民申請者の自立支援事業、等

また、グループ会社のさくらケーシーエスでも、社員の約8割に当たる918名がボランティア基金に加入し(平成24年3月現在)、福祉や環境活動への寄付活動を行っています。

#### ●大規模災害発生時の義援金口座の開設、寄付等

三井住友銀行は、国内外の大規模災害発生時に、振込手数料無料の口座を開設しお客様の募金を受け付けるとともに、行内、グループ各社社員にも呼びかけています。平成23年度は、紀伊半島を中心とした台風12号に対応し、東日本大震災義援金も引き続き受け付けを続けています。また、タイ北中部洪水被害では、同行より寄付を行いました。

#### ●プロボノ活動

社会人がビジネススキルや職務経験を活かしてボランティアを行う「プロボノ活動」に取り組んでいます。平成23年度は、関西地域において地域経済の活性化や、社会

的課題の解決を目指すNPO3団体を、有志社員によるプロボノ参加と協賛により支援しました。平成24年度は、「SMBCプロボノプロジェクト」として、認定NPO法人格の取得・維持を目指す3つのNPOに対し、寄付金管理等にかかるアドバイスを行うプログラムを開始しました。

#### ● ボランティアスタッフYUI(ゆい)の活動

三井住友銀行では、社員自らが企画立案を行う社内ボランティア組織「YUI」の支援を行っています。ろう学校での交流会、海岸清掃への継続的な参加、地域の高齢者施設への定期訪問などを継続的に行っています。

#### ● 全国拠点における地域貢献活動

三井住友銀行では、全国の営業拠点が自ら企画し地域社会に貢献する活動を推進しており、銀行見学会、支店周辺や野外での清掃活動、地域のイベントへの参加などを行っています。SMBC日興証券でも、地域の清掃活動やボランティア活動に積極的に参加しています。

#### ● 「お客様サービスプラザ」の展開

SMBCコンシューマーファイナンスは、多重債務の未然防止への取り組みを社会的責任ととらえ、その役割を担うコミュニケーション拠点として、全国21カ所に「お客様サービスプラザ」を展開し、「カウンセリング」「社会貢献」「地域密着」の3つの観点から活動を行っています。地域の方々が気軽にお金について相談できる拠点を目指し、借入・返済・その他お金に関する相談やカウンセリングサービスをはじめ、ヤミ金被害の未然防止等に向け、各種セミナーや体験イベントなどを実施しています。

#### ● 外国コイン募金活動

三井住友銀行は、ユニセフ外国コイン募金実行委員会のメンバー企業として、同募金活動の運営に協力しています。同行の国内本支店・出張所の店頭「外国コイン募金箱」を設置して協力を呼びかけ、集まった募金は各国通貨別に仕分けし、ユニセフに送っています。

#### ● 商品・サービスを通じた寄付支援

三井住友銀行では、普通預金の税引後利息を寄付する「ユニセフ愛の口座」を取り扱っており、同行もお客さまと同額の寄付をしています。

三井住友カードは、ワールドプレゼントの景品を通じ、VJAグループ各社カード会員から寄せられた寄付金をユニセフ、ユネスコ、WWFジャパン、WFPに寄付し、あわせて同社からもユニセフへの寄付を実施しました。また、クレジットカードを通じた寄付支援として、インターネット募金の受付や各種社会貢献型カードを発行し、利用額の一部を寄付・還元しています。

セディナでは、“子どもたちの夢を形にする”をコンセプトとする「アトムカード」等の社会貢献型カードを発行し、利用金額の一部を児童養護施設等に寄付しています。またポイント交換を通じた寄付やインターネット募金の受付も行っていきます。

#### ● TABLE FOR TWOへの参加

三井住友銀行・三井住友カード・三井住友ファイナンス&リースでは、社員食堂でヘルシーメニュー1食を購入すると開発途上国の学校給食1食分がNPO法人「TABLE FOR TWO」に寄付される取り組みを、本店等で実施しています。また、三井住友銀行・三井住友カード・三井住友ファイナンス&リース・SMBCフレンド証券・SMBC日興証券では、飲料を購入すると同団体に寄付される仕組みの自動販売機も設置しています。

#### ● 財団を通じた取り組み

米国を本拠とするSMBC GLOBAL FOUNDATIONは、平成6年よりアジア各国で学ぶ大学生6,000名超に奨学金を支給しています。またニューヨーク市ハーレムの高校が主催する日本研修旅行の支援、学校の美化活動への三井住友銀行・日本総合研究所社員によるボランティア参加、同社員が行う寄付への財団からの同額寄付等を実施しています。

三井住友銀行国際協力財団は、開発途上地域の経済発展に資する人材の育成および国際交流を目的とし、平成2年の設立当初より、アジアから日本の大学院へ進学した留学生、毎年7～8名を対象に奨学金を支給しています。また、発展途上国に関する研究機関・研究者への助成を行っています。

### 環境活動

#### ● 環境保全活動への参加

当社では「SMFGクリーンアップデー」を定め、平成23年度はグループ各社の有志社員とその家族約235名が、神奈川、兵庫の2会場で海岸清掃に参加しました。

SMBCフレンド証券では、千葉・兵庫の2会場で独自に海岸清掃活動を開催し、103名が参加したほか、みなと銀行では須磨海岸の清掃活動に51名が参加し、日本総合研究所では大阪市で一斉清掃を行う「クリーンおおさか2011」に、関西アーバン銀行では琵琶湖岸での一斉清掃活動に参加しました。SMBC日興証券では、平成22年秋に環境保全・社会貢献活動強化期間として「Green Week」を設け、平成23年度は清掃や収集活動等に社員と家族のべ4,695名が参加しました。セディナ・三井住友ファイナンス&リース・SMBCコンシューマーファイナンスでも事業所周辺などで継続的な清掃活動等を行っています。

### ●SMBC環境プログラム C・C・C富良野自然塾

三井住友銀行は、脚本家の倉本聰氏が北海道の富良野で実施する、閉鎖されたゴルフ場の跡地を元の森に回復させる活動と、五感で自然を体感する環境教育プログラムを支援しています。

### ●「環境フォト・コンテスト」への協賛

三井住友ファイナンス&リースは、環境問題の大切さを伝え行動を喚起することを目的とする写真コンテストに協賛し、「三井住友ファイナンス&リース賞」を贈呈しています。

### ●こどもエコクラブ全国フェスティバルへの協賛

三井住友銀行は、(財)日本環境協会が主催する「こどもエコクラブ全国フェスティバル2012」に協賛し、ブースを出展しました。

## 文化・芸術・教育

### ●チャリティーコンサート「名曲のおもちゃ箱」開催

三井住友銀行では、平成18年度より毎年、有志社員演奏によるチャリティーコンサートを開催し、会場では募金受付や社員の手づくり品のチャリティー販売などを行っています。平成24年度は、東日本大震災被災地およびカンボジア・ベトナムの子どもたちを支援するとともに、東北から東京都内に避難されている方々もご招待しました。



### ●営業店でのロビーコンサートの実施

三井住友銀行の本店・大阪本店や、関西アーバン銀行の本店・びわこ本部では、一般の方に無料で鑑賞いただけるロビーコンサートを実施しています。

### ●文化芸術事業の支援

三井住友カードでは、国立劇場・国立演芸場への綴帳寄贈や子ども歌舞伎への公演協賛を通じ、古典芸能振興と人材育成を支援しています。

SMBCフレンド証券では、山種美術館の特別展への協賛を通じて、文化・芸術活動を支援しています。

三井住友銀行・セディナでは、クラシックコンサートへの協賛を通じて、音楽文化の振興を支援しています。

### ●金融経済教育への取り組み

三井住友銀行・SMBC日興証券では、小学生向けの職業体験イベントを開催しています。三井住友銀行では、各支店にて随時小学生から高校生まで職場見学の受け入れを行っているほか、小学生向け書籍「銀行のひみつ」の発刊、お仕事体験タウン「キッザニア」への協賛、中学生向けの経済教育プログラム「品川ファイナンスパーク」への協力など、幅広く金融経済教育活動に取り組んでいます。

SMBCコンシューマーファイナンスでは、主にお客様サービスプラザが中心となり、小学生を対象にお金の成り立ちや役割について学ぶカードゲームや、学生・社会人を対象とした金融に関わるセミナーを実施しており、平成23年度は、合計511回開催しました。三井住友銀行・三井住友カード・三井住友ファイナンス&リース・日本総合研究所・SMBC日興証券・みなと銀行でも、大学への講師派遣等を行っています。SMBCフレンド証券では、話せるインターネット証券サービス「悠々投資」を通じて、投資初心者を対象にした投資学習サービスを提供しています。

## 海外拠点における取り組み

当社グループでは海外拠点において、その国や地域の課題、文化に即した独自の取り組みを展開するほか、ボランティア基金でもNPO・NGOへの寄付を通じて、開発途上国の貧困問題解決、教育や医療支援、女性の地位向上など、ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に寄与するプロジェクトを支援しています。

- ・三井住友銀行(中国)有限公司における、浙江大學、中山大學、蘇州大學、華東師範大學、上海外國語大學、天津外國語大學での奨学金制度
- ・三井住友銀行(中国)有限公司 蘇州支店における、有志社員とその家族による天平山の清掃活動
- ・三井住友銀行香港支店における、アジアの若手音楽家によるオーケストラへの寄付
- ・三井住友銀行ソウル支店における、「全国学生日本語演劇大会」への寄付を通じた、韓国の学生が日本語を習得し日本文化への理解を深める場の提供
- ・三井住友銀行ハノイ支店における、インターナショナルスクールの学生への就労体験機会の提供
- ・三井住友銀行ニューヨーク支店における、NPO法人を通じたフィリピンの小学校へのパソコン等機器の寄贈
- ・三井住友銀行シドニー支店における、拠点内CSR委員会を中心とした、子ども、難病、難民、震災等に関わるボランティア活動ならびに寄付活動への参加
- ・マニファクチャラーズ銀行における、心臓病予防啓蒙イベントへの参加および有志従業員による主催団体への寄付
- ・欧州三井住友銀行における、ボランティア休暇を利用した社員の活動、行内寄付基金によるチャリティー団体への寄付、また、同基金のマッチングギフト制度(従業員の寄付に対して銀行が一定額を拠出する制度)を利用したチャリティー団体への寄付
- ・欧州三井住友銀行における、ワークエクスペリエンスプログラム(学生への就労体験プログラム)の実施を通じた、学生や恵まれない環境下に置かれた若者等への就労体験およびビジネススキル習得の機会提供
- ・日本総合研究所欧州拠点における日本語スピーチコンテストへの寄付

## 少子・高齢化に向けた取り組み

### ●支店におけるユニバーサルデザイン・ユニバーサルサービスの導入

三井住友銀行・みなと銀行・関西アーバン銀行では、さまざまなお客さまのご来店に対応するため、以下のような取り組みを行っています。

- ・視覚障がい者対応ATMの設置
- ・助聴器、拡聴器の店内設置
- ・筆談ボード、コミュニケーションボードの設置
- ・自動体外式除細動器(AED)の設置\*
- ・杖ホルダーの設置(三井住友銀行・みなと銀行)
- ・ご高齢者や身体の不自由な方向への優先座席の設置(みなと銀行) 等

\*自動体外式除細動器(AED)はSMBCフレンド証券、SMBC日興証券でも設置をしています。

また、三井住友銀行やみなと銀行では、ご高齢者や身体の不自由な方に関する知識・サポート方法を習得したスタッフを各店に配置しています。

### ●超高齢社会を見据えたビジネス展開に向けて

三井住友銀行では、今後増加が見込まれる高齢者専用賃貸住宅の普及を支援するため、担保管理等の取り扱い要領を明確化しました。

今後も社会のニーズにあわせ、高齢者が安心していきいきと生活できる仕組みづくりを支援していきたいと考えています。

## 東日本大震災復興支援活動

### ●被災地支援ボランティアの実施

三井住友銀行では平成23年4月に「震災復興特別休暇」を創設し、同年5月より従業員による定期的な被災地支援ボランティアを開始しました。平成24年5月までに有志役職員のべ約180名が参加し、被災地での泥のかき出し、写真の整理、瓦礫除去などを行いました。

SMBC日興証券でも、平成23年4月にボランティア休暇制度を導入したことに加え、同年7月には平成23年度新入社員350名および引率の役社員が被災地支援ボランティアを行いました。



### ●お客様サービスプラザスタッフによる被災地支援

SMBCコンシューマーファイナンスでは、被災地に拠点を構える盛岡・仙台のお客様サービスプラザ(以下SP)をはじめ、全国21拠点のSP社員が、被災地災害ボランティアセンターの運営スタッフとして、電話対応スキル等を活かした支援活動を行いました。

### ●「日本の復興・再生のあり方」についての提言実施

日本総合研究所では、「複合大災害」としての東日本大震災の多面的影響の今後の推移や、震災後の日本の復興・再生のあり方について、メディア等各地で提言を行っているほか、同社ホームページ上で情報発信を行っています。

### ●ポイント交換景品を活用した寄付活動の実施

三井住友カード・セディナでは、クレジットカードを通じた義援金寄付受け付けのほか、カード使用によって蓄積されるポイントによる、被災地への募金を行いました。

### ●東日本大震災支援募金

三井住友銀行では、平成23年6月に「東日本大震災支援募金」として、被災地支援の取り組みに限定して活用する毎月400円の給与天引き募金を創設しました。平成23年10月には被災4県庁に、平成24年3月および5月にはボランティア活動で連携した宮城県の4つの団体に、本支援募金と同行マッチングギフトをあわせた寄付を行いました。本支援募金は、平成26年6月まで継続実施する予定です。

### ●宮城県復興支援セミナーの開催

平成23年9月、三井住友銀行は宮城県および七十七銀行と共同で「宮城県産業復興セミナー」を開催しました。本セミナーでは、村井嘉浩宮城県知事をお迎えし、セミナーにご参加いただいた方々に、同県における震災影響の現状や「宮城県震災復興計画」等について説明をいただきました。当日は、両行の取引先を中心に382社／571名のお客さまが参加しました。

### ●都内避難者との交流ボランティアの開催

三井住友銀行では、ボランティアスタッフYUIのスタッフを中心に、都内に避難されている被災者の方々との交流会を定期的に開催しています。